

神奈川県異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第74号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
Email: iguren@kanagawa-iguren.com
http://www.kanagawa-iguren.com

戸塚のまちあれこれ

芝 忠

11月1日、横浜市立戸塚図書館が開館30周年を迎え、横浜コラボ倶楽部(YCC、中嶋敏男会長)の活躍で1日の記念講演会と8、9日の朝市が賑やかに行われました。戸塚図書館は横浜市の1区1図書館の方針で昭和53年(1978)市内で4番目に開設されました。私が講演会の講師の一人を引き受け、もう一人は地元のユニーク企業、大倉陶園が勤めました。私の演題は「戸塚の過去・現在・未来」という壮大なテーマで安請け合いし過ぎたと反省しましたが、次のようなことを話しました。

東海道の戸塚宿は、山の中でまちとして発達していなかったため第1次の宿場町(37宿)では指定されず、第2次(57宿)で指定されました。江戸と箱根越えを控えた小田原との丁度中間点にあったため宿泊地としてのニーズが高まったためでした。戸塚に大手製造業が進出したのは戦前の軍需産業が京浜工業地帯では手狭になり、内陸部への展開を始めた昭和10年代です。日立製作所やブリジストンタイヤ、日本光学工業、東洋電機製造、三菱電機、東洋高圧工業などが相次いで進出し「美田、たちまち工場に」という状況でした。

戦後も山崎製パンなどの食品工業が多数進出し、中小企業団地の造成もあり市内でも有力な内陸工業地帯となりました。しかし大工場の生産基地の地方や海外移転のあおりを受け、従業員数が半減、代わって工場跡地にマンション群が林立、人口が急膨張しました。工場は研究所に変貌、市内でも有数な研究所立地地帯と変わりました。東戸塚駅も出来て、一帯は東京や横浜市内中心部に通う通勤者で溢れ、ベッドタウン地域となりました。現在、駅西口の再開発に取り組んでおり、約12万㎡という巨大な広さですが、もともとあった零細商業者の大半が入居しないという変則な有り様です。区内の商業販売額は売り場面積の増加の割には横ばいです。

これからの戸塚は家庭にいる女性や、定年で戻ってくる元気な高齢者を活用して区内に仕事を創造し、地域密着型のまちづくりが必要です。安心・安全なまち、人と人との交流をベースに小さなサークルを無数につくり、地元で活躍できる環境、人の育成、ユニーク小ビジネスの活発化、人の魅力で情報発信をし、外から自然に人が来るまちづくりを目指します。現在頑張っている中小企業と人を大切に作る地域づくりということでしょう。

マックス・ウェーバーは資本主義の発展の最終段階に登場する人間を「精神の無い専門人、心情の無い享楽人」であろうと予言したが、破綻するに決まっている「金融商品」なるものを考え出した人、ばらまいた人、飛びついた人たちは「精神の無い専門人」であり、儲けるために不祥事を繰り返す人は「心情の無い享楽人」の典型である。

<日経新聞11月12日夕刊 作家 長部日出雄>を転用し一部修正した。編集子

産学官交流サロンのコーナー

おなじみ尾上町サロン

日時：第一・三金曜日(11月21日、12月5日、19日) 17:15～

会場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所

会費：1000円(現物も大歓迎)

連絡問合せ：神奈川異グ連事務局 芝、島津龍男、八幡、鈴木 045-633-5142

第29回新産学交流サロン(よこはま)

日時：2008年11月19日(水) 18:00～20:30

場所：神奈川中小企業センタービル 5階

話題：近代花火発祥の地(横浜)から発信

「西洋花火の開祖は明治時代の起業家でもあった」

煙火写真・煙火史研究家 伊東 洋氏

参加費：1000円(ビール、おつまみ付)

事務局：織方、岡田、杉本 芝 045-633-5142

第18回西湘サロンの開催案内

日時：2009年1月19日(月) 18:00～20:30

場所：あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル) 3F

話題：サロン開設3周年記念シリーズ第一弾

「文化観光交流とまちづくり」

東海大学工学部建築学科教授 杉本洋文氏

参加費：1000円(ビール、おつまみ付)

申込：島津俊、吉池、芝 tel 045-633-5142

第25回かわさき経済人サロンの開催案内

日時：2008年12月04日(水) 18:00～20:30
 場所：(財)川崎市産業振興財団 10階 第二会議室
 話題：川崎のユニークな元気企業に聞く！
 「計量を通して人と地球を考える」
 (株)メジャーテックツルミ代表取締役 横須賀 健治氏
 参加費：1000円(ビール、おつまみ付)
 事務局：松井、渡部、芝 045-633-5194

第29回三浦半島経済人サロンの開催案内

日時：2008年11月18日(火) 18:00～20:30
 場所：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室
 話題：「マグロ漁業の現状と課題について」
 日本鯉鮪漁業協同組合連合会・理事
 事代漁業(株) 代表取締役 寺本紀久氏
 参加費：1000円(ビール、おつまみ付)
 事務局：八幡 045-633-5142、鶴野 045-836-6785

第17回(11月10日)西湘サロンの報告

吉池正樹 BC

今回のお話は「おだわら街なか起業家支援センター」のインキュベーターマネージャー 金網潤氏にお願いしました。「**起業成功の秘訣を考える**」との話題で、入居ベンチャー企業と一緒に事業展開をしている氏の貴重なお話です。起業成功のポイントは**①自分に「ウソ」をつかない。②「未体験」を楽しむ。③「夢」に日付けと具体性を持たせる。④「今」を大事にする。**ことだそうです。

また、厚木商工会議所石井利直氏と鮫島正英氏より県央地域に産業クラスターの形成を目指して活躍する「新産業創出推進協議会」(経済産業省採択事業)の紹介がありました。現在も加入企業を募集しています。

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**まんてんプロジェクト**

千田BC

- 10月1日から5日まで、パシフィコ横浜で開催された2008年国際航空宇宙展において、産学地域連携コーナーにて、5小間の共同展示を行なった。また、早稲田大学のブースにて、早稲田大学と共同で「全電動UAV 開発のモデルの提案」展示を行なった。規模としては、このコーナーでの最大級の展示であり、まんてん会員企業10社が共同展示に参加した。
 前回の4年前と比べ非常に盛況であり、出展各社へのコンタクト状況は予想を超えるものがあった。
- 10月3日午後展示会併設のセミナー会場にて、まんてんプロジェクト主催の「産学地域連携セミナー～日本の中小企業における航空・宇宙部品のものづくり～」セミナーを開催した。「民間航空機産業の現状と将来」、「各地域の航空・宇宙関連団体の動向」のほか「航空・宇宙事業へのわが社の取り組み」として各企業からの事例報告、「航空関連産業に関する東京都の取り組み」「英国ウエールズ州航空宇宙フォーラムの取り組み」などの発表があった。250名と予想をはるかに超える参加者があった。この講演会の様子は動画にて日本航空宇宙工業会のHPに掲載されている。<http://www.japan aerospace.jp/>
 また、このあとの交流会には、海外から英国、フランス、アメリカ、ドイツからの参加を含めて150名が参加し大盛況であった。
- 早稲田大学が主催する「航空機部品国産化研究会」の幹事メンバーとして、航空機部品や航空機部品加工技術の自主開発を行なっている企業を早稲田大学に紹介し、来年1月23日に開催するセミナーでの発表の準備を進めた。
- 本年**11月27-29日にポートメッセ名古屋にて開催される我が国ではじめての「航空宇宙産業参入の為の航空宇宙産業技術展」**の開催に協力しているが、出展の準備、セミナーの準備などの作業を進めた。
 詳細は<http://www.nikkan.co.jp/aitec2008/>

日韓ビジネス協議会第91回定例会開催

高橋道徳BC

日時：12月10日(水) 16:00～17:00 17:30より忘年会を予定しています。
 場所：神奈川中小企業センタービル5階会議室
 かながわ異業種交流センター(異業種グループ連絡会議) TEL:045-633-5142
 内容：①韓国京畿道との異業種国際交流会の報告
 ②日韓産業技術フェアの内容紹介
 ③日韓中小企業情報センターのその後の状況 などを予定しています。
 関心ある企業の参加者を歓迎致します。
 申込先：TEL&FAX:045-311-0094 高橋迄MAIL: mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

日韓ビジネス協議会第90回定例会／（10月22日）報告

高橋道徳BC

- 日本企業紹介**・・・知的財産関連／（株）知財マネジメント支援機構 石黒孝夫氏
（株）ベンチャーラボ、横浜市が発起人となり、横浜市とゆかりの深い大手・地方金融機関や大手企業などの出資の協力を受け設立した会社である。事業内容は1. 知的財産戦略策定支援 2. 知的財産戦略フォローアップ支援 3. 知的財産・技術・市場調査 4. 知的財産・技術評価 5. 管理・運営体制整備 6. 知的財産活用をベースとするマッチングなどである。
- 韓国・京畿道との交流会&視察旅行の観光地の紹介**・・・世一トラベル チーフ 宣 順任氏
行程表をベースに観光地の紹介および背景などを説明された。韓国観光マップおよび関連資料が配布された。
- 日本大学産学連携知財センターの紹介**・・・小森幹雄氏
日本大学産学連携知財センターはわが国の承認TLO第1号として活動を開始している。
ポリシーとして1. 産学官連携の基礎となる優れた知的財産の創出 2. 産学官連携の推進体制の充実 3. 産業界との連携強化 4. 規定など学内規範にもとづく信頼性の確保、5. 地域産業との密接な連携による地域社会への貢献、6. 産学官連携を推進する人材の育成などである。
- メイン講話：「ベトナム事業のその後の発展」**・・・浦本工業株式会社 代表取締役 浦本和弘氏
以前に韓国企業から工場の一部を借りて事業をスタートして比較的順調に事業が稼動しているところまでお話を頂いた。その後は苦難な状況に陥った。韓国企業が事業に行き詰まり、電気、水道などが止められ、事業の継続が出来なくなった。その後、工場探しに苦労したが、幸いゴム公社の団地を借り受ける事が出来て自前の工場を竣工させた。業務が板金、棒状加工後のメッキ処理の排水が問題で排水規準を満たすための設備などが必要で最終的には日本のメッキ会社と合併で新規に会社を設立した。工場設立資金繰り、工場ドロボーにあたり、材料の高騰や人件費の上昇など苦労が多かったようである。
現在、事業は順調に推移しており、地元TVにも紹介され、その録画を拝見した。

C&S グループの25周年記念事業の準備

C&S会長 魚崎誠也

C&Sグループも早いもので**来年が25周年**に当たる。先月の定例会からそろそろ準備に入っている。C&Sグループでは、平成10年の記念事業から、「**次の一手**」という小冊子を作るのが恒例になっている。今回もこれで行くか新しい発想のもとに編集するかが一つの議論の焦点になっている。

思えば、この「次の一手」も長いこと中小企業主の助けの面を我々診断士が果たした役割があったと自負するとこれである。ただ、昨今の情勢を鑑みるに、10年前とは格段に環境は変わってきている。中小企業を取り巻く環境は、より複雑になってきているし、何といても情報化がより進んだこの10年という歳月を感じる。

C&Sグループも最近の仕事量の減少から、財政的に決して従来ほど豊かではなくなってきている。このような状況から、機関紙である「C&S 交信」の特集号程度の予算で出来ることを目標にしたいとも考えている。

まだ記念事業まで、時間があるので十分議論して、費用のかからない、しかも異グ連とか中小企業主の支援に貢献できるものを発行したいと思っている。

関連イベント等のお知らせ

補助金セミナー SBIR説明会(無料)

中小企業技術革新(SBIR)説明会を開催します。
日時：H20年12月3日(水) 13:30～16:30
H21年02月25日(水) 13:30～16:30
会場：6F大会議室
内容：①公的資金活用企業の体験談
②SBIR制度概要、最新情報
③応募のポイント など
主催：(社)日本技術士会神奈川県技術士会
申込み：同上 tel045-210-0337 fax045-210-0338

会計セミナー 経営を強くする(無料)

日時：H20年11月12日(水) 13:30～16:30
H20年11月26日(水) 13:30～16:30
会場：神奈川中小企業センタービル13F第3会議室
内容：(独)中小企業基盤整備機構「中小企業の会計に関する指針」に則り、決算書作成の留意点を理解いただき、資金体質強化による経営体質強化に役立てていただきます。
主催：神奈川異グ連、(財)中小企業異業種財団
申込み：同上 tel045-633-5142 fax045-633-5194

「かながわビジネスオーデイション2008」

11月20日(木) 12:30～18:30 開催

新しい産業を担う創造的な人材や企業がユニークで新しい独自のビジネスプランを発表します。
会場：神奈川中小企業センタービル 参加費：2000円(懇親会費を含む)
申込み：かながわビジネスオーデイション実行委員会事務局 045-633-5203(産業振興センター内)
申込書を <http://www.kipc.or.jp> からダウンロードして郵送 or メール or FAX で送付してください。

おためしベトナム語講座

日時：1日目 11月29日(土) 13:00~15:00
2日目 12月6日(土) 13:00~15:00

場所：日本ベトナム友好協会 語学ルーム
(JR「大塚」駅徒歩10分、地下鉄「新大塚」駅
徒歩3分)

講師：ベトナム人留学生

授業内容：1日目 ベトナム語とは、ベトナム語の発
音、数の数え方

2日目 あいさつ、買い物

受講料：5,000円

申し込み：090-4125-2677(20時間対応)

master@nihonvietnam.com

主催：日本ベトナム友好協会講座運営委員会

第11回産業交流展2008

日時：11月25日(火)~26日(水) 10:00~17:00

会場：東京ビッグサイト西1、2ホール、アトリウム
出展：情報、環境、医療・福祉、機械・金属 728社
同時開催：8都県市合同商談会(事前申し込み要)

25日：「ナビタイムの技術開発と世界展開戦略」

(株)ナビタイムジャパン代表取締役 大西啓介氏

26日：「人材の育成と組織の活性化」

(財)日本水泳連盟理事 金子正子氏

「M&A最新情報と企業価値向上経営」

GCA サブグループ(株)取締役 佐山展生氏

「人材氷河期こそ人で勝つ」

(株)カリエオブライヴ代表取締役 原 正紀氏

詳細は <http://www.sagyo-koryuten.jp>

投稿のコーナー

子規と竜馬

C&S 村上嘉男

昨年の暮、ANAのマイルが年末で期限切れになるということでどこかに旅行しようということになり行き先に選んだのが、四国の松山と高知であった。

松山は正岡子規(1816~1902)の出身地でそのため俳句のホームランドとしてNHKも毎週土曜日の朝11時から1時間BS放送で「俳句王国」の番組を松山から放映している。

今年の文化功労者には、この番組の常連出場者の金子兜太が選ばれている。

当地は俳句が日常生活に溶け込んでいるらしく街角や市内電車(伊予電鉄)の車内にも投句箱が設けられているといった徹底ぶりである。

年に1回秋に集め選考し市民のみならず旅行者も含め表彰している。また教育にも生かしており市内の小学生から高校生までの投句では昨年7000人応募したようで、俳句を用いた街の活性化を図っている。

観光地としては、松山城が市の中央にあり、よく手が入っており、中高年の観光ボランティアが揃いのジャンパーを着て観光客に説明をしており、街なかの繁華街にも多く見受けられた。

城や道後温泉の入り口にある道後公園もボランティアが箒をもって清掃しているため実に清潔なしっとりとした雰囲気が漂っている。

一方高知は明治維新の功労者、坂本竜馬(1835~1867)の出身地であり空港も高知竜馬空港と名付けているほど竜馬に入れ込んでいる。子規は竜馬が暗殺される1か月前に生まれており、すれ違いの運命であったが、この二人が現在も四国をしょって立っている。

高知も観光としては竜馬の名声と、8月の中旬の3日間行われる「よさこい踊り」以外には観光客を引き付ける目玉が乏しいようである。

高知城も石垣は草ぼうぼうで、城も改築中であり、観光ボランティアも居たが数少なく、松山に比べると見劣りがしている。

2010年のNHKの大河ドラマは坂本竜馬が予定されており、再来年はご当地観光で賑わうこととなるが、坂本竜馬一人に頼られても竜馬としても荷が重いことと思う。

観光行政として松山は俳句を中心に、市民、観光客を巻き込み一体となった地道な永続的な活動が効を奏しているようで、今後の地域振興の参考となるのではないかな。

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】魚崎 誠也 村上 嘉男 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】芝 忠 杉本 明子

【木】八幡 敬和 松井 利夫 【金】島津龍男 芝 忠 織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階

神奈川県異業種グループ連絡会議事務局 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194

URL：<http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail：iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!